～宮大生のための海外渡航～

オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

看護学研究科　看護学専攻　修士 2 年 （氏名　黒木真菜）

〇派遣：ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター

〇派遣期間：　平成 29 年　2 月　20 日　～　平成 29 年　3 月　17 日

〇渡航時の学年：　**修士 2** 年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

将来、途上国で働きたいという思いがある。英語のスキルアップのために、長期の留学をしたいと考えていたところ、GSO のメーリングリストで今回の留学の情報を得ることができたため。

・渡航に関する手続について：

既にパスポートは持っていたため、ミーティングへの参加、必要書類の提出、授業料・航空チケットや保険料の支払い等のみであった。特に大変な手続きはなかった。

・査証取得：

なし

★体験記：

渡航費用：全てにかかったお金はおよそ 60 万円弱でした。

生活費：食事は 3 食出してもらえるので、ほとんど必要ないです。友達と外食したりする時、足りない服やシャンプー類、ティッシュ等は買いました。

大学の環境：美しい建物、緑に囲まれて、とても落ち着いた雰囲気です。Wi-Fi も学校が始まって 2 日後くらいから使えました。

授業内容：平日はみっちり講義がありました。月曜と金曜は早めに終わります。テストもしっかり準備されています。

学生の様子：様々な国から留学生が来ていて、その多くは将来オタゴ大学で学ぶためにランゲージセンターにいる人がほとんどであったので、モチベーションが高いと感じました。

生活環境等：夏と聞いていて長袖をほとんど持って行っていなかったのですが、だいぶ寒くて買い足しました。それで結構お金を使いました。

派遣先で学んだこと：いろんなことに興味を持ってチャレンジすれば、たくさんの人と知り合えるし、英語を使う機会が増えると実感しました。多少お金がかかっても、ニュージーランドでしかできないことは、体験して良かったと思っています。

〇生活費：

海外旅行保険：11,060 円

旅費（往復）：203,360 円

授業料、ホームステイ：262,500 円

食費：20,000 円

その他：100,000 円（週末のツアー：35,000 円/回×2、お土産、等）

〇ホームステイ先の環境：

3 歳の子供のいる夫婦。隣の家に祖父母がいた。

週に2，3回は、祖父母も交えて食事をして、賑やかで楽しかった。

アウトドアが好きで、カヤック体験や、ウイークエンドマーケットに連れて行ってもらったりした。
食事は予想に反して少なめで、とても健康的なものだった。

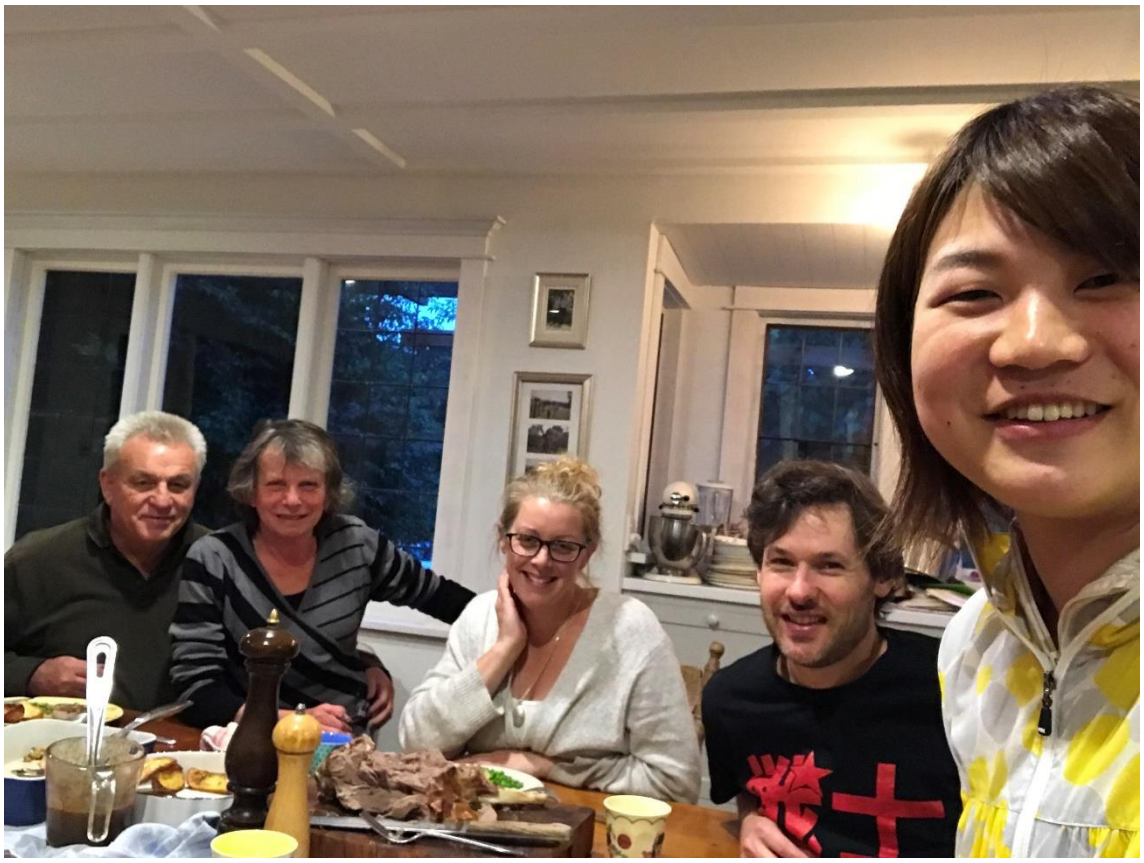
〇大学のサポート状況：
スタッフの方は皆さんとても親切で助けられた。

〇授業の様子：
とても日本人が多く、クラスの半分は日本人だった。しかし English only が徹底されていたので、鍛えられた。クラスごとに Writing, reading, listening, speaking, vocabulary それぞれに焦点を当てた内容で、それらをまんべんなくスキルアップさせることができた。ニュージーランドの歴史や時事についての記事を扱うことも多く、ニュージーランドへの理解を深めることができた。

〇他の留学生たちの様子：
日本人が最も多く、その次にタイや中国、中東からの留学生が多かった。

〇現地学生との交流：
クラス内ではもちろん、昼食、放課後にジムでのスポーツ（主にバドミントン）などで、密に交流した。また、大学主催の週末のショートトリップにはひとりで参加したが、同じように一人で参加していた留学生と友達になりました。

〇街の様子：
ジョージストリートではなんでも揃います。スーパーマーケットも近くにあります。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
事前に準備するもの：テキストやノート、ファイルももらえました。
留学に向けてのアドバイス：ホームステイでは、積極的に自分がしたいことや、気になることを伝えることが大切でした。現地の人に頼ると、自分ではたどり着けない最善策を教えてくれるので、勇気を出して聞いてみることが大事だと思いました。

UOLC CLASS TIMETABLE